

ヘルン文庫のお宝発見



富山大学の附属図書館が有するヘルン文庫は、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン 1850-1904）の旧蔵書と『日本：一つの解明』（『神國日本』とも呼ばれる）の手書き原稿からなり、本学の貴重な財産となっています。

この度、これらの蔵書の中から見いだされる新たな価値を、本学客員教授のマリ・クリスティーヌ氏がナビゲートし、様々な分野の有識者に紐解いていただき、ヘルン文庫から発見される文化の多様性について意見交換していただきます。

日時 平成23年12月13日（火） 13:30～15:30

場所 富山国際会議場2F 特別会議室

主催 国立大学法人富山大学 地域連携推進機構生涯学習部門

参加無料！

《パネルディスカッション》

テーマ「ヘルン文庫から文化の多様性を理解する」

パネラー

- ウィリアム・カリー氏（元上智大学学長、上智大学名誉教授）
- 佃 一可 氏（(社)知識資源機構代表理事、(財)全税共文化財団理事、煎茶道文化協会代表理事）
- 鈴木良雄 氏（専門図書館協議会事務局長）
- 栗林裕子 （富山大学附属図書館 司書）

ナビゲーター

- マリ・クリスティーヌ 氏（富山大学客員教授）



○ヘルン文庫の由来：

富山大学の前身校の一つである旧制富山高等学校の設立準備を進めていた初代校長となる南日恒太郎氏は、実弟でラフカディオ・ハーンの高弟でもあった田部隆次氏から、ハーンの遺族が故人の蔵書を他へ譲りたい意向であることを聞いて、これを同校に譲り受けたい熱意を抱かれました。その後、同校の創設に私財を投じた馬場はる氏に寄附を仰いで購入は実現し、大正13年（1924）6月10日に挙行された開校記念式に馬場家から寄贈されました。現在「ヘルン文庫」は富山大学に受け継がれ、大切に保管されています。

【申込み、問合せ】

国立大学法人富山大学地域連携推進機構生涯学習部門

〒930-8555 富山市五福3190

TEL：076-445-6956

FAX：076-445-6033

Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

お申込みは、裏面の申込書を記入のうえ、**12月9日（金）まで**に直接持参、郵送、FAXまたはEメールにて上記へお申し込み下さい。詳細は裏面をご覧ください。



●講師略歴：

ウィリアム・カリー 氏

元上智大学学長。昭和48年に上智大学文学部英文学科の講師として着任以来、英文学、日本文学、及び比較文学について教育と研究に多大な貢献をした。(財)大学基準協会評議員、大学審議会特別委員、大学評価・学位授与機構評議員、国立教育研究所外部評価委員、国立大学法人評価委員、日本カトリック大学連盟会長等を努め、日本と世界の高等教育の発展に大きく貢献した。

佃一可 氏

横浜市瀬谷図書館館長、横浜市文化財係長、横浜市中心図書館調査資料課長を歴任。現在(社)知識資源機構代表理事(財)全税共文化財団理事。煎茶道文化協会代表理事。法門寺(唐王朝菩提寺)博物館名誉教授。英米の図書館経営論に関する論文多数。

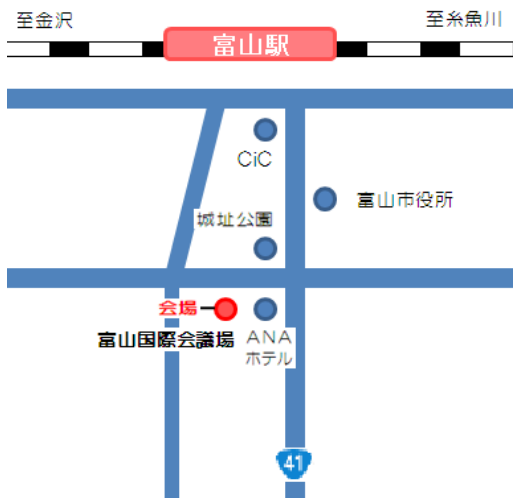
鈴木良雄 氏

神奈川県立川崎図書館情報サービス部長、神奈川県資料室研究会理事、神奈川県立図書館調査部長、文部科学省図書館のあり方検討会議議員、日仏図書館情報学会副会長を歴任。現在専門図書館協議会事務局長、秋田大学非常勤講師、フランス図書館関係日文文献目録。「情報メディアの革新」(共著)。

●ナビゲーター略歴：

1996年「AWC(アジアの女性と子どもネットワーク)」代表就任。2000年「国際連合人間居住計画(国連ハビタット)」親善大使就任。2002年「2005年日本国際博覧会 愛・地球博」広報プロデューサー就任。2006年あいち海上の森名誉センター長就任。2009年「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)支援実行委員会広報アドバイザー就任。2009年11月から富山大学客員教授

会場地図



-----切り取り線-----

参加申込書

氏名	
住所	〒
電話番号	
e-mail	*生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。

※所定の欄にご記入の上、12月9日(金)までに、直接持参、郵送、FAXまたはEメールにて表面の申込み・問合せ先まで、お申し込みください。

※ご記入いただいた個人情報(お名前や連絡先等)は、今後の講座案内等の送付、アンケート調査以外には使用いたしません。